

## 7. 上原 健士郎

### 高知県の南海トラフ地震への対策と課題について

#### 要旨

南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%と高くなっており、発生する被害は大きいものと予想されている。検証の結果、ソフト対策については高度経済成長期における大都市圏への大幅な人口流出などの影響で人口減少と高齢化の増加であることが分かった。またハード対策については100%ではない木造住宅の耐震化が問題であることも分かった。

本研究では、取り組まれてる防災対策の現状及び問題点を明らかにするために、被害想定地域である高知県についての対策について論じる。